富山地区学校再編検討委員会第４回会議　会議録

日時　令和７年３月６日（木）
　　午後７時から午後７時４０分まで
会場　富山岩井コミュニティセンター
　　多目的ホール

【当日関係者】
検 討 委 員　１６人（１人欠席）
オブザーバー　　２人
傍　聴　人　　０人
報　　道　　１人
事　務　局　１１人

１　開会

進行　　皆さん、こんばんは。
　本日は大変お忙しい中御出席いただき、誠にありがとうございます。
　本日の会議の進行を務めます、教育委員会事務局学校再編整備課、鈴木と申します。
　よろしくお願いいたします。

進行　　会議に入る前に、お手元に配付してございます資料の確認をお願いいたします。
　まず、「会議次第」。
　次に、資料１、「富浦地区・富山地区学校再編検討委員会の会議開催状況」。
　配付物は以上の２種類となります。
　お手元の資料に不備等がございましたら、お知らせいただきたいと思います。
　よろしいでしょうか。
　それでは、ただいまから富山地区学校再編検討委員会第４回会議を開

会いたします。
　会議は次第に沿って進めさせていただきます。

２　委員長挨拶

進行　　次第の２、委員長挨拶。
　戸倉委員長、お願いいたします。

委員長　こんばんは。お忙しいところ、御苦労様でございます。
　年度末ということで、もう役員さんがお代わりになるときが来ました。
　そしてまた、学校再編委員会のほうのメンバーもまた、何人かはお代わりになると思いますけれども、１回の会議で、１回だよね。今日で２回目か。会議の中で、富山地区は推進に向けて進めましょうということで決まっております。
　ですから、富浦さん待ちということになってますけども、なかなか富浦さんのほうは、そこにはまだ至ってないわけでございまして、会議がずっとありませんでした。
　だから、これから新しい役員さんが引き継ぐということになりますと、富山はこうですよ、はいいんですけども、富浦のほうはどうなんだというふうに聞かれたとき、私もよくわかんないわけですけど、説明もしようもございませんので、今日は事務局のほうから富浦の流れといいますかね、状況を説明をいただきまして、何とかまた引き継いでいただければありがたいと思います。
　ということで、いろいろとお願い申し上げまして、一ついい引き継ぎになりますように、また次の方も同じようにやっていただけますようにお願いを申し上げまして挨拶に代えます。
　よろしくどうぞお願いします。

進行　　ありがとうございました。

３　教育長挨拶

進行　　続きまして次第の３、教育長挨拶。
　　三幣教育長から挨拶を申し上げます。

教育長　改めまして、こんばんは。
　　御出席いただきましてありがとうございます。
　　まず冒頭、私ども担当の課長、いつも進行してるわけですけど、担当の課長、それと担当１名、体調等崩して申し訳なく欠席ということで御了解いただければと思います。少ない人数の中でやってますんで、届かない点があるかと思いますがお許しいただければと思います。
　　本日の会議ですけど、今委員長からお話がありましたように、富山地区については令和６年度２回目ということになります。ずっと待っていただいてるわけですけど、先月ですね、富浦地区の５回目になるかと思いますが、会議を開きまして、まだ方向性が見い出せない状況にあります。したがいまして、今年度はこの会議で最後ということになるかと思います。
　　年度変わりまして、区長さんあるいはPTAの役員の方で委員が交代することもあるかと思いますが、改めて７年度の委員を構成していただきまして、富浦のほうの結論が出るのをお待ちいただくということになるかと思います。
　　これらについて、富浦の状況等につきましては、担当のほうからまた後ほど報告いたします。これについて、また皆さん方の御意見があればいただきたいと思います。
　　本日の会議、よろしくお願いいたします。

４　報告等

進行　　はい。それでは、次第の４、報告等に移ります。
　　（１）「富浦地区学校再編検討委員会の検討状況について」を事務局から説明いたします。

事務局　それでは、報告等（１）「富浦地区学校再編検討委員会の検討状況について」を説明いたします。
　　資料１を御覧ください。

こちらは、富浦地区・富山地区それぞれの検討委員会の会議開催状況となっています。右側が富山地区となっており、第 1 回会議から裏面の本日の第 4 回会議までが開催されています。表面の上から 4 つ目、第 2 回会議で富山中学校と富浦中学校を統合させる方向性で行く、との結論を出していただきました。

次に、左側の富浦地区を御覧ください。

上から 4 つ目、第 2 回会議で、三芳地区だけ置き去りにされてしまっているなど、三芳地区の再編に関する言及があり、事務局で三芳地区の PTA の意見を確認することとなりました。

そのため、中学校再編案については継続審議となりました。

第 3 回会議では、三芳地区 PTA も事務局と同様に、生徒数は現状維持を見込めるとの考えを持っていたことを伝え、改めて富浦中学校と富山中学校の統合について協議を行っていただきましたが、保護者の意見を参考にしたいとして、PTA 内部で意見の取りまとめをしてもらうことになり、継続審議となりました。

意見の取りまとめが終わった後、裏面の第 4 回会議を開催して、引き続き中学校再編案について協議をしていただきましたが、PTA の持つ疑問点等について、PTA 役員と事務局で打ち合わせを行ってほしいとの意見があり、再度継続審議となりました。

その後、小学校・中学校 PTA においてアンケートを実施し、その結果を受けて、PTA 役員と事務局で打ち合わせを実施しました。PTA からは判断をしかねる、などの意見がありました。

最後に、第 5 回会議を 2 月 20 日に開催して、中学校再編案について協議を行いましたが、結果は継続審議となっています。理由としましては、委員より、富浦と富山だけではなく、ほかの地区を含めた統合の可能性を視野にとの意見があり、事務局としても検討をし、資料を提示する必要があったためです。

このような状況から、富山地区の皆様には富浦地区の協議結果を待っていただく状況が続いておりますが、御理解をいただければと思います。

以上で説明を終わります。

進行　　報告が終わりました。

御質問等がございましたら、御発言をお願いいたします。

なお、議事録を作成し、ホームページに掲載したいと考えておりますので、挙手の上、お名前を述べてから御発言くださいますよう、御協力をお願いいたします。

それでは、御質問等はございますでしょうか。

委員　よろしくお願いします。

今年度の４月から委員になっていてですね。

ちょっと経過をよくわからない中で質問してしまうと、ちょっと申し訳ないんですけども、このペーパーでいいますと、R6 年２月、富山中学校と富浦中学校を統合させる方向性で行くとの結論となった、ということなんですけども、手元にはこの資料があるんですけども、そのときの経過について概要をお話しいただけると助かるんですけども。これが一番重要なところかと思うんですけども。

教育長　概要といいますと、この会議の会議録ということでしょうか。

委員　会議資料を見ますと、いろいろ意見が出てるようなんですけども、ここに 2 行で集約されておりますけども、その集約に至った経過といいますか、もうちょっとこれ詳しく御説明いただけると助かるんですけども。この方向になったですね。経過ですね。

教育長　会議自体だいぶ日が経ってますけど、会議録の内容でまた御覧いただきたいと思いますけど、この会議自体はどこの会議でも多数決は取っておりませんので、意見を出していただいて、それでおそらく富山中学校と富浦中学校を統合させるという方向でよろしいですかというようなことで、委員長さんが意見をまとめたかと思います。

特に統合させる方向で御異議ございませんか、というような意見の確認をして、特に意見がないということで、異議がないということで、合意をみた、そういう判断をしているかと思います。

委員　いくつかの統合の選択肢を示した上で、こうなったということでよろ

しいでしょうか。

教育長　ここでの議論はそこにありますように、富山中学校と富浦中学校の統合ということで御議論いただきました。

委員　　いくつかの選択肢を示したわけではなくて、これでよろしいかということで取りまとめたということでよろしいでしょうか。

教育長　はい、そのとおりです。

委員　　よろしくお願いします。

僕、この委員会で2年目になるんですけども、実際、今年度は最初の顔合わせの1回と、今回の今のこの会議が2回目という形になってはいるんですが、僕の記憶がちょっと1年前ぐらいまでになっちゃうのでちょっとあやふやなんですけども、この富山地区の第2回、富山中学校と富浦中学校を統合させる方向性で行くとの結論となったと、こう言い切られたようなお話に多分なってはいるんですけど、なんか、僕は別に個人的には統合に反対云々とかっていうことではないんですけど、実際そういう方向性で行くっていう結論になったっていう、何かこの言い切った感じの話だったかなっていうのは、ちょっと曖昧だった気がするんですが、この辺が結論になってたかなって、ちょっと僕もクエスチョンな部分ではあるんです。

ただ別に個人的に統合がどうこうってことではないんですけども、はい。

教育長　統合するという結論は求めていないといいますか。なぜそういうことになるかっていうと、最終的に統合するかしないかっていうのは、合同会議で最終的に結論を出していくものという、こういうことで御理解いただいてると思います。

ですから、富山地区としては富浦中との統合という方向で今後協議していきましょうと、そういうような方向性をいただいたと思ってます。

したがいまして、富浦地区の方向性が、富山中と統合しようという方向

性が出れば、そこで初めて合同会議ってことになってきて、具体的にいつ、あるいは新しい校舎をどこにするとか、そういったことも含めて議論していただいて、最終的に合同会議の中で統合しましょうという結論に至るということで、それぞれの富浦地区、富山地区での議論はあくまでも統合するという結論には至らない、だけど統合する方向で、今後、両地区合同で会議をしていきましょう。そういうことで合意をいただいたと、そういうふうに私どもは理解しておりますんで、委員長さんもそういう形で意見を集約したかと思いますんで、これについてはもう一度御理解いただければと思います。

事務局　すいません。今年度の最初に行った第 3 回会議の、今年度の 1 回目の会議のときに、その第 2 回会議の議事録を資料として皆様にお配りをしておりまして、大体 16 ページあたりで結論が出ていますので、もしお持ちでしたらちょっと確認をいただければと思うんですけれども。

そうですね、ちょっと間が空いてしまっているので。

議長さんが、最後まとめた言葉を読み上げてみますと、いっぱい喋った中の最後の部分になりますけれども、16 ページの上のほうですね。今ここの富山地区の再編委員会としては、富山中学校と富浦中学校の両校を統合させるという方向性で行くということでよろしゅうございますでしょうか、ということで確認を取らせていただいたということになっております。

進行　はい。他に御質問等はございますでしょうか。

委員　すいません、よろしいですか。

私は都内で生まれ育ちまして、この地では育ってはいないんですけども、私の小学校・中学校時代のちょっとお話をしたいんですけれども、葛飾区で生まれ育ちまして、葛飾区は、小学校の学区域と中学校の学区域は違います。

ですから中学に上がると、六つぐらいの小学校から一つの中学に集まるんですね。小学校は 2 クラスだったのが中学になると 5 クラスになって、学区域が違うということは、小学校でお別れする子もいたんですね。

その線の具合によって、学区域によって、隣の中学に行くという小学校の友達もいました。

私、中学にそれで入って、最初はですね、他の小学校の友達とは仲良くなれないなみたいな気持ちもありました。ただ、入学式入ってみると、いきなり 180 センチある同級生がいたりとかですね。しばらく経つと、水泳のジュニアオリンピックで優勝しましたと、今度アジア大会に行きますというような同級生がいたりとかですね。非常に人が、いろんな友達というか、同級生が集まることで、自分もものすごく刺激を受けて、新しい感覚というかね、出会いによって新しい自分にアップデートされるという経験を私はしました。

中学時代ですね。結局、中学ですごく仲良くなった友達というのは、違う小学校の友達でした。そのときの私の感覚というのは、こんなに居心地のいいグループがあるのか、というような感覚でした。それはやっぱり、小学校は 2 クラスしかなくて限られた人たちの中での付き合い、その中で学校生活を送る。でも、中学校になって、人数が増えて、自分と本当に気の合う仲間と友達になれると。

そういったプラスの面がありましたので、私は富山中と富浦中を統合させるのかはわからないですけれども、なるべく多くの子どもたちと自分の子を接したい。そういうチャンス・機会を与えたい。そこで成長を促したい。

それが私の親としての意見なんですけれども、この再編の委員会の中で、富山地区の保護者に対する説明会の中で、確か質問があって教育長さんがお答えになってたことがあったと思うんですけれども、30 年ぐらい経つと、旧町村の枠組みをもった人たち、また新しい世代が出てくるんで旧町村の枠組みっていうのは薄まってくるんじゃないか、というようなお話をされたことがあったかと思うんですけれども、今富浦の方がですね、難しい。なかなか膠着状態というところで、私が思うことはですね、富山か富浦かとか、三芳かとか、そういう旧町村の枠組みで学校を運営するのではなく、南房総市として新たに学区域を引き直す。そして、今いろいろ問題もあると思います。校舎の問題とか、先生の問題とか、そういったものを教育委員会のほうでしっかり精査していただいて、富山地区なんかは今の 3 歳児の子は 7 人しかいない。もう数年後には、富山小に入学

する子が７人しかいないっていう現状がもう目の前にある中で、旧町村の枠組みの議論をするのではなく、南房総市としてどういう教育、どういう施設、どういう環境を整備していくのかっていうこと。

で、私は何が言いたいかといいますと、やはり、学区域の引き直しっていうことはできないんだろうかというのが質問でございます。

長くなりましたけど以上です。

教育長　今、委員さんのおっしゃったような、できるだけ多くの子どもたちの中で子どもたちを学習、あるいは学校生活を送らせたいっていう、それは基本的な私どもの考えでありますんで、それでそういう考えに基づきまして、平成 23 年に市民の方々あるいは学識経験者の方々や多くの方に集まって作っていただいたのが、南房総市の学校再編計画であります。

これは当地区においては、当時、平群小学校と岩井小学校を統合したわけですけど、一番最初にできたものは旧町村で小学校を半分にするという、そういう内容でした。

したがいまして、旧富山町においては、２校あった小学校を１校にする。富浦につきましては、八束小と富浦小、これを１校にする。こういう形で進んできて、新しい学区も、したがってできてきたわけです。

進めていく中で、やはり子どもの数の減り方がちょっと当初の予想よりも多かった。そういうことで、白浜、富浦、富山の小学校について２校を１校にすることを進めながら、今度ですね、その計画に修正を加えまして、半数以下にするということで。したがいまして、その結果は千倉小学校が 4 校を 1 校にする。こういうような再編もしました。後は旧町村を越えて統合も考えるということで、和田・丸山が、中学校が一つになりました

これの結果を踏まえていますので、基本的にはその流れの中で、私ども進めております。

今回につきましては、富浦地区と富山地区で中学校の統合を進めていったらどうかという提案を私どもしていますので、流れとしますと、委員さんが今お話したようなものと同じような形で考えていってるかなと思ってます。

なお、白浜小学校と千倉小学校の再編ということも今同時に進めてお

ります。

これ今、委員さんがおっしゃった旧町の枠を越えての統合ということで、これは今同時進行で進めておるところであります。

委員　すいません。私がちょっと心配してるのがですね、富浦の方の、南のほうの方ってすごく遠いよねっていうふうに思うんですよね。

やっぱりそういう人たちはちょっと、なんていうんですかね、富浦か富山かみたいな議論に今なってしまっているので、多分富浦の方は、じゃあ富山のほうが新しいからみんな富山に行くんだよね。それは困る。っていうことがあるんじゃないかなって、私は心配をしているんですね。

ですから、やはり今ある学校校舎の耐用年数とかいろいろ見て地図を広げて、この地区はここの学校、この地区はこの学校っていうような考え方をしたほうがなんていうか、不公平がないといいますか、みんなが納得しやすいんじゃないかなと思いまして、申し上げさせていただきました。

でも今、教育長さんのお話でよくわかりました。ありがとうございました。

教育長　先ほど富浦小学校でアンケートをとったということでありましたけど、もう少し具体的に申し上げますと、アンケートって申し上げますと、紙でとったようなイメージを持たれるかと思いますが、紙ではありませんで、スマホで保護者のアンケートをとったということで、それでですね、設問が２択なんです。

一つは統合に賛成、もう一つが今はその時期ではないという、こういうアンケートをやって、前回２月の富浦の会議でこういう報告があったわけですけど、私のほうも質問したんですけど、今はその時期ではないっていう「今」というのは、どういう時間枠で考えているんですかっていう質問したんですけど、これは質問を受けた人の個々によって違うという。ですから、今日・明日の今っていうふうに考える方もいる。あるいは今年とか、あるいは中には３年先、５年先を考えている人もいるだろう。

そういうような違いがあって、でも選択肢としては、今はその時期ではないという形でまとめられているのが 50 数%ですね。

あるいは統合に賛成ということが 45%近くということで、したがいま

して、私どもとすると、このアンケート結果だけを持ってこられて意見がまとまらないってことではなくて、このアンケートを元にして、PTA の方々、保護者の方々でもう少し話し合ってくることが必要だろうというような考えは申し上げたつもりでおります。

したがいまして、今お話したように、まだ富浦小学校の PTA の方々、保護者の方々では、その設問自体の受け取り方とか、そういうものを詰めていない状況があるんで、大変申し訳ないですけど、結論とすると富山地区の方々には今しばらく待っていただかなきゃいけない状況にある。

そんなふうに判断しております。

進行　よろしいでしょうか。

他に御質問等はございますでしょうか。

委員　まず、今回の 4 月に富山学園の小学部の 1 年生の入学者数が、14 名なんです。

この委員会が多分長引けば長引くほど、入学してくるこの 14 名の 1 年生が中学に上がるときに 14 名のままでいくのか、富浦とくっつくのかって結構すごく微妙なラインにあるとは思うんですけど、これって長引けば長引くほど、おじゃんになってしまう可能性もあるってことですよね。富浦の出方によっては。そういうことですよね。

この統合っていう話自体がなくなってしまう可能性もあるってことですか。

教育長　私どもの考えとすると、これで統合しますってことを言うと、いろんなところで、いわゆる統合ありきでいるだろうということを言われるんですよ。

ですから、私どもは統合ありきで、先ほど委員さんがおっしゃったように、やっぱり子どもたちが学校生活を送るとすれば、やっぱり人数が多いほうがいい。多過ぎるのも困りますけど、やっぱり一定数、可能な限りの子どもたち、通学できる範囲の中で得られる多さが、やっぱりもっと私どもが求めるものだと思っております。

ですから、人数が少なくなっていっても、私どもとすれば、現在の段階

だとやはり富浦地区と富山地区が一緒になって、一つの学校を形成していくのが一番。そのように考えております。

私どもとすると、それは基本的な考えで、今委員さんが心配してるように、人数は少なくなっていきます。

少なくなっていく中でも、今見通せる中では、富浦と富山を統合する。再編していくってことは、私どもベストだと思って、これからも取り組んでいきたいと思ってます。

委員　すいません。私、基本的に統合は反対だという考えをずっと持っていたんですが、前回の会議で、数年後に富山中学校全員で 28 名ですか。それぐらいになってしまうという数を聞いてびっくりして、もうできるだけ早く統合しなきゃいけないなというふうに、180 度考えが変わりました。

というのは、私教員をやってたんですけども、最後の 3 年間校長で、全校児童が、小学校なんですけど、もうなくなりましたが、全校児童で 18 名。この 18 名でどうやって学校運営していくのかということで、非常に珍しい体験をさせてもらったなというふうに思います。

それと同じようなことが中学生で起こる。それで富山の教育がいいのかなということがあります。

先ほど委員が話したように、富浦の出方でおじゃんになってしまうとなると、また大変困る。何のために私たちがここに集まってるんだろうという話になってしまいますので、推進する方向でいってもらいたいんですけども。

先ほどの委員さんですか。都会はいいんですよ。

例えば、この岩井の広さの中に北区がすっぽり入るくらいの広さなんで、学校はかなり数多くあるんですが、残念ながら、この南房総は距離の問題が出てくるんですね。例えば、ここに住んでる子が、中学校が白浜に作られたら、毎日スクールバスで 1 時間半かかっちゃうんですよね。行き来が。

やっぱりもう少し近いところに子どもを置いて、楽に学業をさせてやらないとストレスも溜まるでしょうしということで、ちょっと話があっち行ったりこっち行ったりになりましたけども、できるだけ早めに推進してもらうほうがいいなと私自身は今考えてます。

進行　　はい。他に御質問等は、ございますでしょうか。
よろしいでしょうか。

≪しばらくの間≫

進行　　はい。それでは、次第の５、議事に移る前に御報告がございます。
本日の出席委員は、１７名中１６名であり、過半数に達しておりますので、設置要綱第７条第２項により会議は成立します。
次に、本検討委員会は、設置要綱第７条第４項により、公開となっておりますので、傍聴の申し出がありましたら、会議の傍聴席へ入っていただきます。
以上で、報告を終わります。

５　議事

進行　　それでは、次第の５、議事に移ります。
設置要綱第 7 条第 1 項の規定により、委員長に議長をお願いいたします。

議長　　はい。それでは、議長を務めさせていただきます。
会議は、設置要綱第７条第４項の規定により、公開とすることになっておりますので、傍聴の申し出がありましたら、それを許可してます。
申し出がありますでしょうか。

事務局　ありません。

議長　　それでは傍聴の申し込みがありませんので、議事に入ります。
議事の（１）「今後の日程について」を協議課題といたします。
事務局から説明をお願いします。

事務局　それでは議事（１）「今後の日程等について」を説明いたします。

令和 7 年 4 月になりましたら、事務局から各所属へ検討委員の推薦依頼を行います。引き続き検討委員をお受けいただく方もいらっしゃると思いますが、改めて報告をお願いいたします。

また、交代される委員の皆様につきましては、新たに選出される方々とお話をする機会があるようでしたら、これまでの会議の内容について引き継ぎをお願いしたいと思います。

これまでお配りした資料につきましては、令和 7 年度第 1 回目の会議で、同様のものを事務局から配付させていただく予定です。

皆様から委員の推薦をいただいた後、教育委員会で検討委員への委嘱の手続きを行います。手続きが完了次第、正副委員長に令和 7 年度の 1 回目の会議日程を決定していただきます。

委員の皆様や関係者の皆様には、後日文書にて御案内をいたします。

以上で説明を終わります。

議長　ただいま、事務局のほうから説明がありました。

それでは、意見・質疑等ありましたら御発言を願います。

どなたかございますか。

≪しばらくの間≫

議長　それではないようですので、お諮りをいたします。

事務局の提案どおり、正副委員長と事務局で相談をいたしまして、決定するということでよろしゅうございますでしょうか。

≪異議無しの声あり≫

議長　それでは、異議のないようですので、異議なしと認めまして、次回の会議は正副委員長と事務局で相談をして決定するということにいたします。

何か議題のほうはこれだけで終わってしまいますけども、本日の議事が終了いたしました。

以上で終わりますので、よろしゅうございますでしょうか。

それでは議事が終了しましたので、司会進行のほう、事務局にお返しを

申し上げます。

進行　　はい。議事の進行ありがとうございました。

進行　　本日の会議日程は以上となりますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

≪しばらくの間≫

６　閉会

進行　　無いようでしたら、閉会とさせていただきたいと思います。

以上をもちまして、富山地区学校再編検討委員会第 4 回会議を閉会いたします。

御協力ありがとうございました。